

日本の知恵、
プラスチックの知恵

準棟簾幕

京町家に降り注ぐ、お日さん

うなぎの寝床のようなと表現される、
間口が狭く奥行きのある、独特な京都の
町家建築。

なかでも、圧巻なのは通り庭の台所のある土間の、「火袋」と呼ぶ吹き抜けの空間です。通風と採光のために設けられた天窓から、垂直に差し込む心地よい日差しと風。この「準棟簾幕」という、吹き抜け上部の見事な木組みの空間構成は、大工たちの腕の見せどころだったとか。

その昔、この天窓には硝子ではなく、和紙を張っていた時もあったそうですが、現在はガラス瓦やポリカーボネートなどの素材へと移り変わっているようです。

住友ベークライトのポリカエースは、降り注ぐ陽光やひそやかな陰影など、豊かな季節や時間の移ろいまでを表現できる素材。その優れた性質は、産業や建築に至るまで幅広い分野で活躍しています。



ポリカエース®

従来のプラスチックが持ち得なかった特性を備えたエンジニアリング・プラスチック。住宅・建築、工業プロダクツなど、幅広い分野で、その資質を活かすことができる素材です。

プラスチックのパイオニア

 住友ベークライト株式会社

プレート事業部

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目5番8号 天王洲パークサイドビル
TEL:03-5462-8700 FAX:03-5462-8710 <http://www.sumibe.co.jp>